

教室の窓

小学部2年担任 吉田 明弘

小学2年生では、四季を大切にしたり取り組みをしています。日本人の国民性は、四季を通した活動に大きく影響していると私は考えています。春は、草もち作りやポップコーンを使った梅の花作り。夏は、かき氷作りや枝豆、トマトなどの夏野菜の収穫。秋は、農業体験（サツマイモ掘り）後の焼き芋体験やオナモミ、ドングリ、松ぼっくりを使った遊び。また、時々、大気汚染指数が低く、天気の良い時は、外へ出てお弁当を食べる外ランチをしています。四季の違いを五感で感じた活動をした後は、それぞれの季節の俳句作りです。児童は、思い思いに感じたことをリズムよく17文字にまとめます。そして、冬。青島に雪が降った時は、外に出て雪遊びです。青島では、年に何度も雪は降らないので、貴重な体験となります。雪合戦をする、雪だるまをつくる、雪の上でサッカーをするなど、五感を使って存分に冬を感じることができました。これから、冬の俳句作りも予定しています。児童の力作が楽しみです。季節の俳句は、小2教室横の廊下に掲示しますので、ぜひご覧ください。いつも仲よし、みんな元気。そんな2年生をこれからもよろしく願います。



教室の窓

中学校1年 担任 小谷 勇人

朝、教室に入ると8人のにぎやかな話し声が毎日聞こえてきます。話題は尽きることなく、休み時間や昼食の時間など様々な時に仲良く過ごせています。担任として幸せな瞬間のひとつです。

1学期は小学校7年生のような雰囲気をもっていましたが、2学期を終えて立派に中学1年生へとなることができたようです。どうしても中学生の時期は多感な時期ですので、日々顔つきや考え方が変化をするものです。時には、周りのことを顧みない言動や行動がありました。時を見てクラスの課題として共有し、それぞれの意見を述べさせる中で少しずつ「いつまでも子どもでいられない」ということが身にしみて分かってきたようです。中学生ならではの発達段階だと言えます。

3学期は中学2年生になるための0学期でもあります。手本になれるような、憧れてもらえるような先輩を目指して中学1年生は頑張ろうということをクラスの目標として確認しました。短い3学期を有意義なものにできるように計画的に学習や生活を頑張っていきたいと思います。

